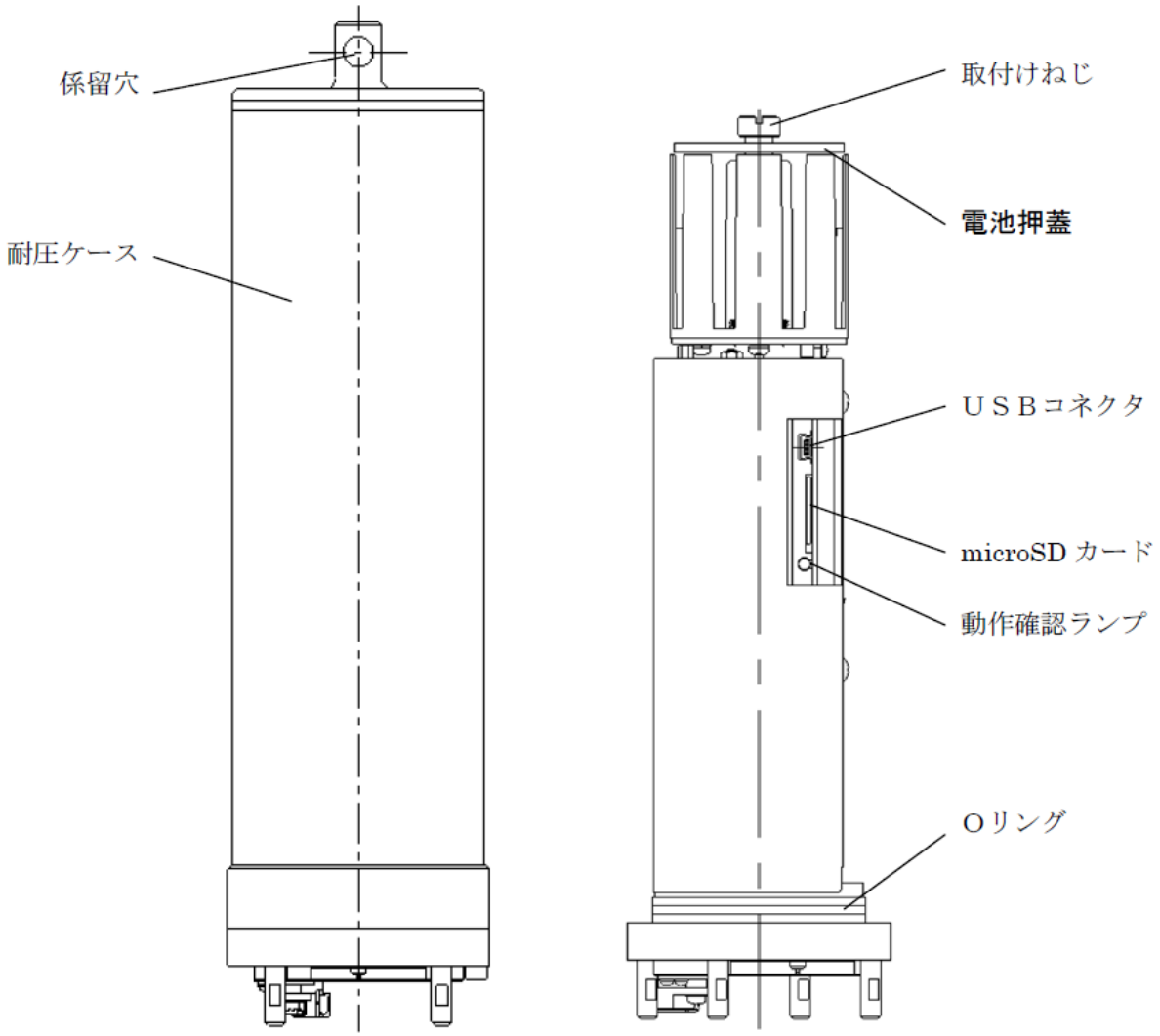
耐圧ケース開閉時の注意事項に関して

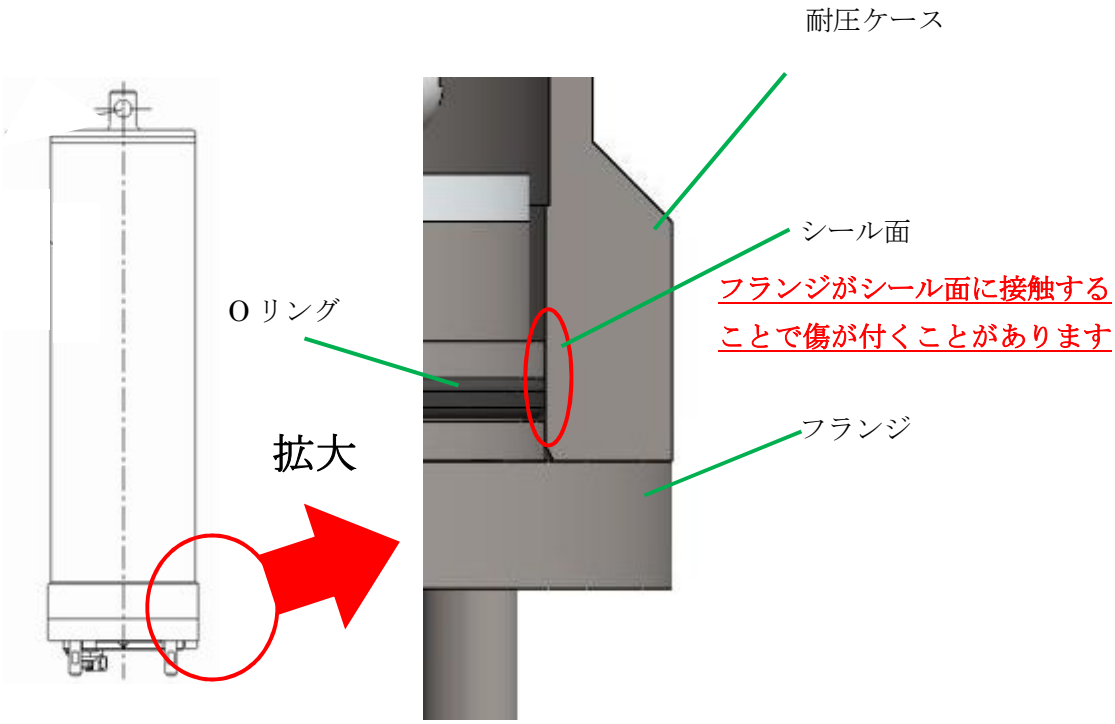
1.はじめに

電池交換、データの抜出など耐圧ケースを開閉する場合に際し、下記の注意事項及び取扱説明書をご参照の上正しくご使用いただきますようお願いいたします。

2.各部名称

※測定器によりましては若干異なる部分がありますが、基本構造はどのシリーズも共通です。



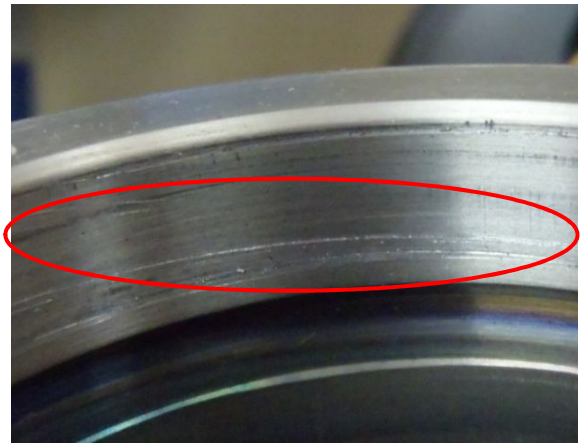


3.ご使用上の注意

製品(メモリー式 INFINITY シリーズなど)によっては電池交換、データ抜出をされる時に耐圧ケースを開封または封入します。

耐圧ケースの開閉をおこなう際、場合によってはシール面に周辺金属が接触することによりシール面を傷つけ、「浸水」の原因となることがあります。

フランジに付いた傷の写真



耐圧ケースに付いた傷の写真

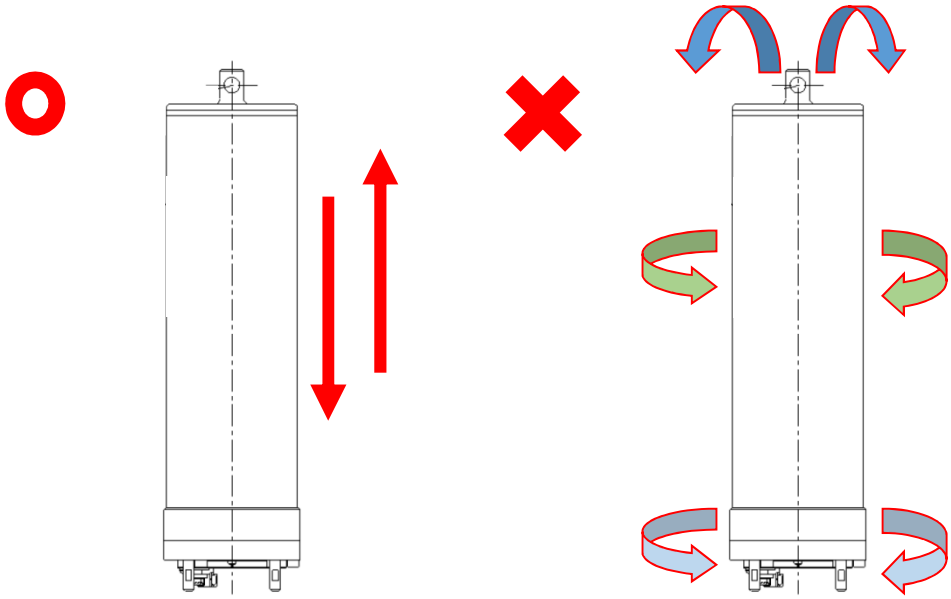
弊社では耐圧ケースの素材として、海水への耐腐食性を確保するためにチタンを採用しております。　このチタンは耐腐食性に優れている反面、耐摩耗性が他の金属（例えばステンレス）に比べると劣ることと、熱電導度が小さいことにより、摺合せ（摺動）により焼き付きを起こしやすい性質があります。　焼き付き発生後も摺動させることに

より、嵌合面の疵の発生まで状態が悪化する場合があります。

このような疵の発生は構造上の問題では無く、耐圧ケースの素材の特性に起因するものですが、このような性質をご理解いただいた上で取扱いに注意して頂くことで、重篤な疵の発生を防止することが可能です。

弊社製品を末永くお使いいただくために､以下の点にご注意いただけますようよろしくお願い致します。

1. 開閉時はできるだけゆっくり、擦れないよう、まっすぐに抜き差ししてください。
耐圧ケースまたはフランジを持ち必要以上に早く回す事や、左右に揺らす様に出し入れすると、シール部に焼きつきや傷が発生する原因となりなります



2. 耐圧ケースを封入する際に、フランジに対して斜めに入れてしまった場合または、開閉する際に引掻くような手の感触を感じた場合には無理せず、慎重にゆっくりと耐圧ケース取り外してください。
強引に開閉するとシール部に焼きつきや傷が発生する原因となります。

3. 耐圧ケースを封入される場合には、シール面に付属のグリスを薄く塗ってください。
シール面にグリスを塗ることで傷の発生を抑制する効果が持たせることができます。
グリスを塗る際には、異物が付着しないように作業をおこなっていただきますようよろしくお願いいたします。

4. 開閉時にひどい傷であると感じられた際には、弊社にご連絡の上、使用上問題ないか確認をお願いいたします。

- 本書の一部または全部を弊社に無断で転載、改変する事は禁止します。
- 本製品および本書の内容を予告なく変更する事があります。
- 本書の写真や画面は、一部実際と異なる事があります。
- 本製品および本書の作成には細心の注意を払っていますが、ご不明な点や誤りなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 製品取り扱い方法に関するご相談などは、営業部・営業所・支店にご連絡ください。
  受付時間 ： 平日 9:00～17:30
  ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

JFE アドバンテック 株式会社
URL http://www.jfe-advantech.co.jp/

海洋・河川事業部